

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2016年5月

高知県感染症情報センター  
 高知県衛生研究所  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>  
 E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第18週(5月2日～)から第21週(～5月29日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。

全国の5月の上位6疾患の合計は46.04で4月の59.91から3/4に減少したが、その主因はインフルエンザの減少である。1位は感染性胃腸炎で22.70と4月1位23.66からわずかに減少した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で10.01(4月3位9.19)、3位は流行性耳下腺炎で3.51(同4位3.17)といずれも微増した。4位がインフルエンザで2.69(同2位18.81)と1/7に減少し終息に向かっている。5位が流行性角結膜炎で2.65(同6位2.44)と微増、6位は同率で2疾患がならび、咽頭結膜熱は2.24(同11位1.25)と増加、突発性発疹が2.24(同7位2.04)と微増した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		4.37	5.88	6.16	6.29	22.70
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.65	2.56	2.83	2.97	10.01
3	流 行 性 耳 下 腺 炎		0.76	0.95	0.95	0.85	3.51
4	イ ン フ ル エ ン ザ		1.24	0.68	0.48	0.29	2.69
5	流 行 性 角 結 膜 炎		0.59	0.75	0.66	0.65	2.65
6	咽 頭 結 膜 熱		0.41	0.54	0.56	0.73	2.24
	突 発 性 発 疹		0.44	0.57	0.58	0.65	2.24

## 県内情報

### 1. 全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の5月の上位6疾患の合計は33.25で4月の57.57と比較して減少し、全国よりも少なかった(表2)。1位は感染性胃腸炎で16.27と4月の2位19.59と比べて減少し、全国よりも少なかった。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で6.57(4月3位8.06)と減少し、全国よりも少なかった。3位はマイコプラズマ肺炎で4.38(同7位1.63)と約3倍に増加し全国よりも多かった。4位は流行性耳下腺炎で2.40(同6位1.97)と微増、5位が流行性角結膜炎で2.00(同10位0.67)と3倍に増加したが、いずれも全国よりも少なかった。6位はロタウイルス胃腸炎で1.63(同4位4.51)と減少したが、全国よりもわずかに多かった。インフルエンザは9位1.25(同1位21.71)と急速に減少しており、全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数(高知県)

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		3.47	3.87	3.93	5.00	16.27
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.47	1.83	1.40	1.87	6.57
3	マイコプラズマ肺炎		0.63	1.00	1.00	1.75	4.38
4	流 行 性 耳 下 腺 炎		0.70	0.53	0.57	0.60	2.40
5	流 行 性 角 結 膜 炎		0.33	0.67	0.67	0.33	2.00
6	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)		0.38	0.50	0.50	0.25	1.63

## 2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

## 3. 主な疾患の発生状況

### 1) インフルエンザ

報告数 60名 (4月 1,016名)。2015/16シーズンは、11月に初めてまとまった数が報告され、施設内流行も報告されたが、12月は増加せず経過した。1月は報告数が増えたものの、全国集計で1月としては過去10年間で2007年に次ぐ少なさであった。とりわけ、高知県からの1月の報告数は全国で最も少なく、遅れて流行を迎えた。2月になって一気に流行が拡大した。過去10年間でみると、2月としては2012年に次いで2番目に多く、3月としては最多の報告数となった。4月は減少に転じ、5月は激減し終息しそうである。今季は、A型はAH1pdm09が優位な流行を示しており、ほぼ同時にB型の流行も始まったことが今季の特徴の1つである。

ウイルスはB/Yamagata、B/Victoriaがそれぞれ1件検出された。県下全域から多数の報告があり、特に須崎、高知市、中央西、安芸からの報告が多い。広い年齢層の報告がなされたが、中でも5～9歳、1～4歳、10～14歳の順に多い。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 29名 (4月 14名)。すべて未成年例であり、幡多、高知市、中央西、中央東から表記の順に多く報告された。咽頭結膜熱の患者を含めアデノウイルスは検出されなかった。

### 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 197名 (4月 242名)。2014年10月以降多く報告されており、2015年8月は減少し例年並みの報告数になっていたが、9月以降に再び増加して、12月以降は2016年3月に至るまで、同時期として過去10年間では最大で、4月は2015年に次ぐ2番目となったが、5月はほぼ平年並みになり、ようやく鎮静化の傾向かもしれない。県下全域から報告されており、特に中央西、幡多、中央東、高知市の順に報告が多い。1-4歳が52名、5-9歳が102名と多かった。細菌はT4が2件、TB3264が1件検出された。

### 4) 感染性胃腸炎

報告数 488名 (4月588名)。5月としては報告数は多くなかった。県下全域から報告されたが、特に安芸、中央東、高知市、中央西で多い。ロタウイルスは2011年11月に任意ワクチンが導入されて2013年11月からサーベイランス調査が開始された。ロタウイルス胃腸炎は、3月に増加し、2013年11月以降では最多の患者数(101名)が報告されたが、4月は36名、5月は13名と減少した。ウイルスはSapovirusが1件検出された。

### 5) 水痘

報告数 34名 (4月 13名)。安芸以外の全域から報告があり、須崎、幡多、中央西の順に報告が多い。5月の報告数として過去10年間でもっとも少なく、ワクチンの定期接種化の効果と思われる。

### 6) 手足口病

報告数 12名 (4月 4名)。高知市、中央東から報告された。例年、初夏に向けて流行するので、今後の動向が注目される。

### 7) 伝染性紅斑

報告数 39名 (4月 22名)。2015年以降、全国的に例年に比べて多い傾向で推移している。高知県からの報告は全国に比べて少ない。県下全域から報告があり、高知市、中央西、幡多、安芸で多く報告された。1～4歳が20名、5～9歳が17名報告された。ウイルスは検出されていない。

### 8) 突発性発疹

報告数 40名 (4月 42名)。想定内の変動で推移している。

### 9) 百日咳

報告数 9名 (4月 8名)。須崎、幡多、高知市、中央西、中央東から表記の順に多く報告された。重症化する6カ月以下の乳児が1例報告された。細菌はBordetella pertussisが5件検出された。

10) ヘルパンギーナ

報告数 16名(4月 8名)。例年6-7月から流行がみられ、今後の増加が見込まれる。ウイルスは検出されていない。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 72名(4月 59名)。ほぼ例年並みの報告数である。県下全域から報告があり、中央西、須崎、幡多の順に多かった。ムンプスウイルスが1件検出された。

12) RSウイルス感染症

報告数 21名(4月 68名)。4月に比べて減少したものの、同時期としては過去10年間で2015年に次いで多い報告数だった。幡多、高知市、中央東で報告され、表記の順に多かった。

13) 流行性角結膜炎

報告数 6名(4月 2名)。ここ3年間は一桁で推移している。

14) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 35名(4月 13名)。高知市、中央東、幡多から報告があった。

基幹定点の月報疾患

15) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 24名(4月 20名)。2015年12月から増加が続き、3月は減少したが4月から再び増加に転じている。

16) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名(4月 1名)。2014年は計4例、2015年は1例のみであった。2016年は1例報告されている。

高知県感染症発生動向調査部会  
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患(平成28年5月)

類型	病名	報告月					総計
		1月	2月	3月	4月	5月	
2	結核	9	7	13	10	7	46
4	日本紅斑熱	1	1		2	1	5
	重症熱性血小板減少症候群	2		1	1		4
	A型肝炎			1			1
5	カルバペネム耐性腸内細菌感染症		3	1	2		6
	後天性免疫不全症候群	1	1	1	2		5
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	2	1	11
	水痘(入院例に限る)					1	1
	破傷風					2	2
	梅毒		1	2	2		5
	急性脳炎			1			1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1
	総計	19	14	24	22	12	91

# 高知県感染症情報 月報(64定点医療機関)

2016年

5月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	4	7	26	5	13	5	60	1,016	54
小児科	咽頭結膜熱		5	14	3		7	29	14	15
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	47	64	40	4	40	197	242	259
	感染性胃腸炎	48	151	191	39	13	46	488	588	495
	水痘		2	10	4	8	10	34	13	51
	手足口病		4	8				12	4	191
	伝染性紅斑	2	4	22	4	1	6	39	22	8
	突発性発疹	2	9	21	3	1	4	40	42	64
	百日咳		1	4	1	1	2	9	8	1
	ヘルパンギーナ		1	8	2		5	16	8	11
	流行性耳下腺炎	1	2	19	16	10	24	72	59	73
	RSウイルス感染症		5	10			6	21	68	22
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			6				6	2	
STD	性器クラミジア感染症								2	1
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎		1					1		2
	無菌性髄膜炎			3				3	1	3
	マイコプラズマ肺炎		3	29			3	35	13	21
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1	2	7
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)		2	11				13	36	19
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	21				24	20	16
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								1	
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		60	246	468	117	51	158	1,100	2,161	1,313
前月		106	455	823	210	171	396			
前年同月		86	219	543	104	61	300			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

# 高知県感染症情報 月報 (64定点医療機関)

2016年

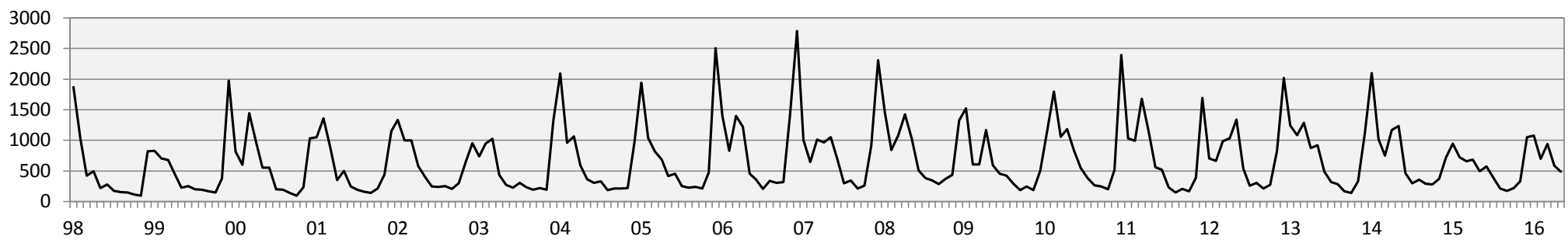
5月

定点当たりの人数

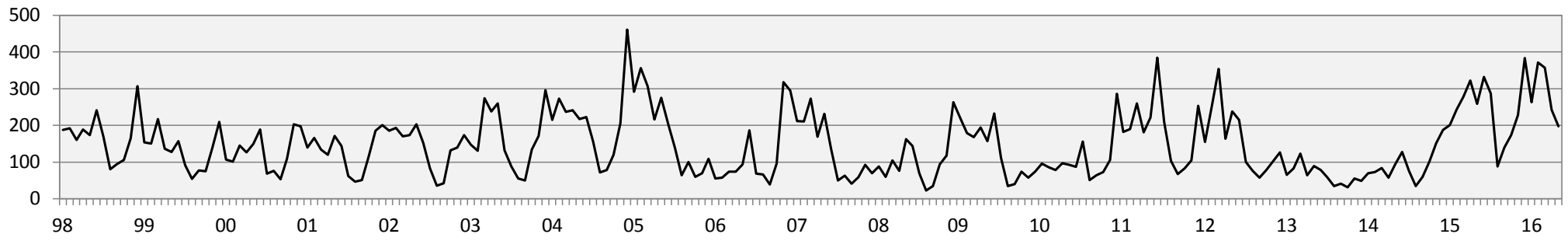
定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	1.00	0.63	1.64	1.00	3.25	0.63	1.25	21.17	1.13
小児科	咽頭結膜熱		0.71	1.26	1.00		1.40	0.97	0.47	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	6.71	5.82	13.34	2.00	8.00	6.57	8.06	8.64
	感染性胃腸炎	24.00	21.57	17.36	13.00	6.50	9.20	16.27	19.59	16.49
	水痘		0.28	0.90	1.33	4.00	2.00	1.13	0.43	1.70
	手足口病		0.57	0.72				0.40	0.13	6.37
	伝染性紅斑	1.00	0.57	1.99	1.33	0.50	1.20	1.30	0.73	0.27
	突発性発疹	1.00	1.29	1.91	0.99	0.50	0.80	1.33	1.39	2.13
	百日咳		0.14	0.36	0.33	0.50	0.40	0.30	0.27	0.03
	ヘルパンギーナ		0.14	0.72	0.66		1.00	0.53	0.26	0.37
	流行性耳下腺炎	0.50	0.29	1.72	5.33	5.00	4.80	2.40	1.97	2.44
	RSウイルス感染症		0.71	0.90				1.20	0.71	2.27
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			6.00				2.00	0.67	
STD	性器クラミジア感染症								0.33	0.17
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎		1.00					0.13		0.26
	無菌性髄膜炎			0.60				0.39	0.13	0.39
	マイコプラズマ肺炎		3.00	5.80			3.00	4.38	1.63	2.63
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.13	0.26	0.89
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限り)		2.00	2.20				1.63	4.51	2.39
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	2.00	4.20				3.00	2.50	2.00
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								0.13	
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		28.50	33.61	35.30	38.31	22.25	30.63	33.16	56.74	40.80
前月		36.25	53.19	59.99	58.00	65.25	59.51			
前年同月		41.75	29.65	44.40	34.26	30.50	56.19			

# 注目される疾患別月別推移

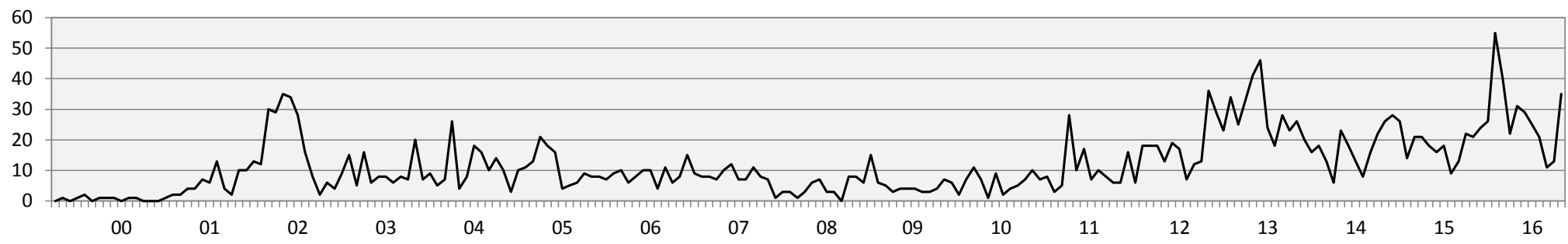
## 感染性胃腸炎



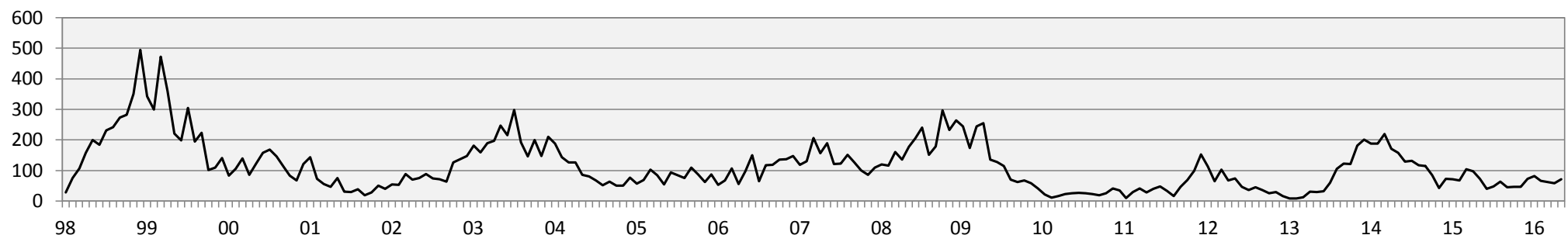
## A群溶血性レンサ球菌感染症



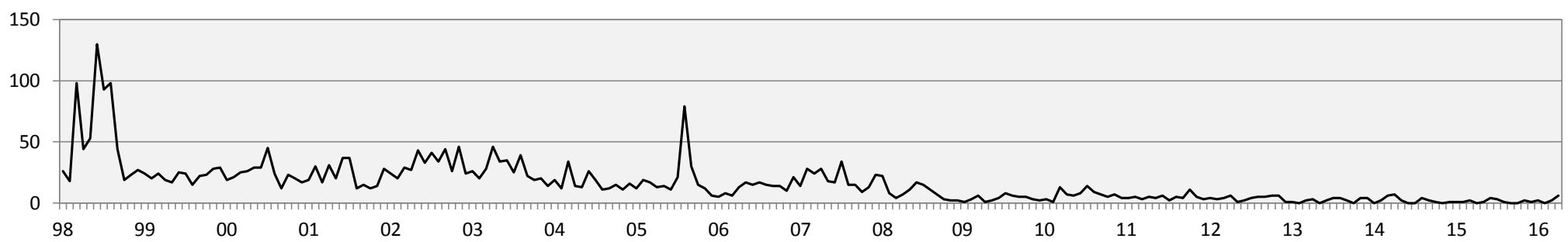
## マイコプラズマ肺炎



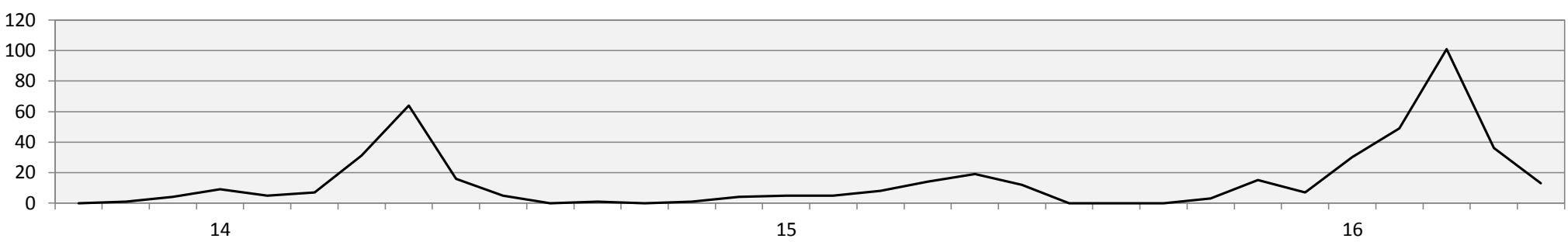
## 流行性耳下腺炎



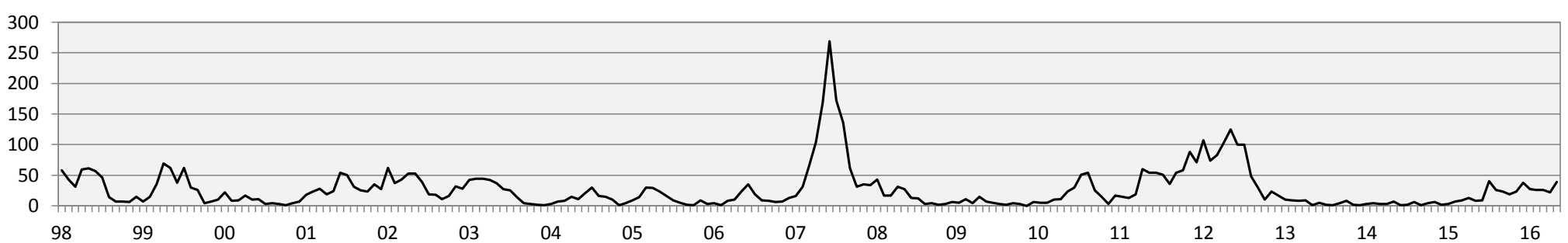
## 流行性角結膜炎



## 感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)



## 伝染性紅斑



## 高知県感染症情報(月報)

平成 28年5月

## 検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

5月はウイルス 45件、細菌 17件の搬入があり、そのうちウイルス 11件、細菌8件の病原体を検出した。また、平成28年4月に搬入された検体でウイルス 10件、細菌 1件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Cytomegalovirus 1件、Echovirus 18 1件、Human herpes virus 6 3件、Human herpes virus 7 2件、Human metapneumovirus 1件、Influenza virus B/Victoria 1件、Influenza virus B/Yamagata 4件、Mumps virus 1件、Parainfluenza virus 3 1件、Rhinovirus 5件、Sapovirus genogroup unknown 1件、また、細菌の内訳は *Bordetella pertussis* 5件、*Enterococcal Aggregative Escherichia coli O126 : H27 aggR* 1件、*Streptococcus pyogenes* T4 2件、*Streptococcus pyogenes* TB3264 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	3ヶ月	男	下気道炎	38℃, 咳漱, 下気道炎,	鼻咽腔ぬぐい液	4/5	Rhinovirus
2	3ヶ月	女	ジアンノッティ病の疑い	39℃, 発疹,	ふん便	4/12	Rhinovirus
3	4ヶ月	女	感染性胃腸炎	嘔吐,	ふん便	4/18	Rhinovirus
							<i>Enterococcal Aggregative Escherichia coli O126 : H27 aggR</i>
4	7	女	不明発疹症	37℃, 発疹,	ぬぐい液	4/18	Human herpes virus 7
5	1	男	不明発疹症	40℃, 下痢, 嘔吐, 嘔気, 発疹,	ぬぐい液	4/19	Human herpes virus 6
6	51	男	インフルエンザ	38℃,	ぬぐい液	4/20	Influenza virus B/Yamagata
7	15	男	インフルエンザ	38℃, 咳漱, 上気道炎,	ぬぐい液	4/21	Influenza virus B/Yamagata
8	1ヶ月	男	—	39℃,	ぬぐい液	4/22	Echovirus 18
9	14	女	インフルエンザ	39℃, 上気道炎,	ぬぐい液	4/22	Influenza virus B/Yamagata
10	1	男	不明発疹症	38℃, 下痢, 嘔吐, 嘔気, 発疹,	ぬぐい液	4/26	Cytomegalovirus
11	2	女	感染性胃腸炎	嘔吐, 嘔気, 腹痛,	ふん便	4/27	Sapovirus genogroup unknown
12	49	女	インフルエンザ	38℃, 咳漱, 関節痛,	ぬぐい液	4/27	Influenza virus B/Yamagata
13	6	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃, 上気道炎,	ぬぐい液	4/30	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4
14	5	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃, 上気道炎,	ぬぐい液	5/2	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264
15	8	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃, 上気道炎,	ぬぐい液	5/2	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4
16	12	男	百日咳	咳漱,	髄液	5/2	<i>Bordetella pertussis</i>
17	9ヶ月	女	RSウイルス感染症、突発性発しん	40℃, 発疹,	ふん便、鼻汁	5/7	Human herpes virus 6
18	1	女	突発性発しん	41℃, 咳漱, 発疹,	ぬぐい液	5/9	Human herpes virus 6
19	6	男	百日咳	咳漱,	鼻腔ぬぐい液	5/9	<i>Bordetella pertussis</i>
20	5	女	流行性耳下腺炎	—	ぬぐい液	5/12	Mumps virus
21	4	男	インフルエンザ	40℃, 上気道炎,	ぬぐい液	5/13	Influenza virus B/Victoria
22	7	女	百日咳	咳漱,	ぬぐい液	5/13	<i>Bordetella pertussis</i>
23	12	女	百日咳	咳漱,	ぬぐい液	5/14	<i>Bordetella pertussis</i>
24	1ヶ月	女	急性気管支炎	40℃, 咳漱, 気管支炎,	鼻腔ぬぐい液	5/16	Parainfluenza virus 3
25	1	男	急性気管支炎	39℃, 咳漱, 気管支炎,	ぬぐい液	5/18	Rhinovirus
26	6	男	—	38℃, 発疹,	ぬぐい液	5/19	Human herpes virus 7
27	1	男	急性肺炎	40℃, 肺炎,	ぬぐい液	5/20	Human metapneumovirus
28	9	男	百日咳	—	ぬぐい液	5/20	<i>Bordetella pertussis</i>
29	5	男	流行性筋痛症	咳漱,	ぬぐい液	5/23	Rhinovirus

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2016年					2016年 総計
		1	2	3	4	5	
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1	1					1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4	1				2	3
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264					1	1
	Epstein-Barr virus	1					1
	計	3				3	6
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	1					1
	Influenza virus A H1pdm09	7	45	10	2		64
	Influenza virus B /Victoria	2	3		1	1	7
	Influenza virus B Yamagata	1	12	8	9	1	31
	Human herpes virus 6			1			1
	計	11	60	19	12	2	104
咽頭結膜熱	Human herpes virus 6		1				1
	Human herpes virus 7		1				1
	計		2				2
感染性胃腸炎	Adenovirus 1						
	Adenovirus 2			3			3
	Adenovirus NT			1			1
	Coxsackievirus A9			1			1
	Epstein-Barr virus			1			1
	Norovirus GII NT	8	1	1	3		13
	Rhinovirus				1		1
	Rotavirus group A G2			4			4
	Rotavirus group AG3	1					1
	Rotavirus group AG8	1					1
	Rotavirus group A NT		4	1			5
	Sapovirus genogroup unknown			2	2	1	5
	<i>Enteropathogenic Escherichia coli</i>	1					1
	<i>Enteropathogenic Escherichia coli</i> O126 : H27 aggR				1		1
計	11	5	14	7	1	38	
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A10		2				2
	計		2				2
手足口病	Coxsackievirus A14				1		1
	計				1		1
伝染性紅斑	human parvovirus B19 virus	1	1				2
	Respiratory syncytial virus A		1				1
	計	1	2				3
百日咳	<i>Bordetella parapertussis</i>		1				1
	<i>Bordetella pertussis</i>	2	5	4	4	5	20
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1				1
	計	2	7	4	4	5	22
流行性耳下腺炎	Mumps virus					1	1
	計					1	1
無菌性髄膜炎	Human herpes virus 7	1					1
	Rhinovirus						
	Respiratory syncytial virus A						
計	1					1	
マイコプラズマ肺炎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1		1		2
	計		1		1		2
RSウイルス感染症	計						
水痘	計						
突発性発疹	Human herpes virus 6					2	2
	計					2	2
その他	Adenovirus 2	1					1
	<i>Bordetella pertussis</i>				1		1
	Coxsackievirus A14	1					1
	Coxsackievirus A16						
	Cytomegalo virus	4		4	1		9
	Echovirus 18				1		1
	Epstein-Barr virus	3					3
	Herpes simplex virus 1	1					1
	Human herpes virus 6	2	4		1		7
	Human herpes virus 7	3	1	2	1	1	8
	Human metapneumovirus					1	1
	Parainfluenza virus 3					1	1
	Respiratory syncytial virus A	2	4				6
	Respiratory syncytial virus B	1		2			3
	Rhinovirus	2	1	3	2	2	10
Rotavirus group A G2			1			1	
計	20	10	12	7	5	54	
<b>総計</b>		<b>49</b>	<b>89</b>	<b>49</b>	<b>32</b>	<b>19</b>	<b>238</b>



類型	病名	報告年																												総計										
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28																					
2	結核																											131	149	163	156	192	132	128	138	131	46	1366		
	計																											131	149	163	156	192	132	128	138	131	46	1366		
3	コレラ	1																											1	3										
	パラチフス	2																											2	2										
	細菌性赤痢	11	4	2	3		1	2	2																											25				
	腸チフス	1																											1	3										
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2											157											
計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	0											190											
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1																	3	1	32											
	Q熱	1	1	2																											1	5								
	オウム病	1		1																											2	2								
	つつが虫病	9		5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3											70												
	マラリア																											2	3											
	レジオネラ症	2	1		1																											9	7	3	6	9	2	4	4	48
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	5	135																				
	日本脳炎	1	1	1																											1	6								
	レプトスピラ症																											1	4	2	1	8								
	E型肝炎																											1	1	2										
	デング熱																											1	3	2	1	7								
	重症熱性血小板減少症候群																											3	11	3	4	21								
	計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	10	339																				
	5	アメーバ赤痢	2		2	2	1	2	2	2	1	3		2	2	3	7		3	34																				
ウイルス性肝炎		11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3	3			1		54																					
カルバペネム耐性腸内細菌感染症																												7	19	6	32									
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	4	4		3	3	6		1		3	2												28														
ジアルジア症		1	2	1																											1	1	7							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1																											1	3										
急性脳炎																												1	1	1	1	17								
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1		1	1																											1	1	3	1	1	1	11		
後天性免疫不全症候群		2	2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	5	55																					
侵襲性インフルエンザ菌感染症																												1	5	3	9									
侵襲性肺炎球菌感染症																												1	4	12	11	28								
水痘(入院例に限る)																												2	1	3										
髄膜炎菌性髄膜炎																												1	1											
破傷風		3		2	2	1	1		1	2	3	1	1	1	1	4		3	2	28																				
梅毒		2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	12	5	128																				
麻しん																											5	5												
風しん																											1	1	4	9	1	16								
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	64	35	459																					
新型	新型インフルエンザ																											34	34											
	計																											34	34											
動物	鳥インフルエンザ																											1	1											
	計																											1	1											
総計		61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	213	91	2389																				

類型	病名	報告月					総計
		1月	2月	3月	4月	5月	
2	結核	9	7	13	10	7	46
4	日本紅斑熱	1	1	2		1	5
	重症熱性血小板減少症候群	2	1		1	4	
	A型肝炎	1		1			
5	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3		1	2	6	
	後天性免疫不全症候群	1	1	1	2	5	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1		3		
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	2	1	11
	水痘(入院例に限る)					1	1
	破傷風					2	2
	梅毒	1		2	2	5	
急性脳炎	1		1				
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1				
総計		19	14	24	22	12	91